

活力あるまち【基礎】

◆公共交通

養老鉄道養老線については、今後も沿線7市町で協力して支援を行うとともに、養老線交通圏地域公共交通網形成計画に基づき、利用促進に取り組んでいきます。

また、養老町地域公共交通網形成計画の策定により、公共交通を再検証し、住み良いまちづくりを目指します。



地域の公共交通機関として欠かせない
養老鉄道

◆道路網

東海環状自動車道については、引き続き養老IC以南の開通見通しの公表ならびに県境間の早期開通について強く要望していきます。

また、県道については、養老

SAスマートICと連絡する（仮称）橋爪大橋の早期完成を強く要望するとともに、大垣養老公園線バイパスなどの幹線道路整備の促進を引き続き要望していきます。

さらに、町道については、町民生活を支える社会基盤として、老朽化が進む道路施設の適切な維持管理と整備を行い、安全で快適な通行空間の確保を図ります。

◆情報基盤

防災行政無線については、今年度中にデジタル化整備を完了します。屋外拡声子局の増設などによる音声の明瞭化や、防災アプリの導入および安心安全メールを拡充することにより、さらなる情報伝達手段の充実を図っていきます。

◆市街地・集落環境

改定を行った町都市計画マスタープランに基づき、持続的に発展していくための魅力的なまちづくりが行えるよう、都市計画事業の推進を図っていきます。

◆住環境

空家等の対策については、老朽危険空家除却補助制度を新たに創設するなど、安心・安全なまちづくりに努めていきます。

また、特定空家等にしないために、所有者などへの適切な管理を啓発するとともに、空家・空き地バンクへの登録も積極的に推奨し、移住定住促進事業、空家利活用促進事業の活用を促し、人口減少対策や定住人口の確保に努めます。

さらに、改良住宅については、適切な管理に向け、法的措置を含む毅然とした対応を行っていくとともに、2月から改良住宅譲渡の受付を開始し、改良住宅用地の測量・分筆も引き続き実施していきます。

◆上下水道

西部簡易水道区域の上水道統合事業は5カ年計画の2年目となりますが、事業の計画的な推進に努めていきます。

また、下水道事業は、集合処理から個別処理への方針転換に伴い、合併処理浄化槽のさらなる普及促進に努めます。

◆農林業

新たな担い手の確保が年々困難になりつつあることから、スマート農業技術を導入し、作業の効率化を図ることにより、経営の発展を目指す意欲ある農業者の取組を支援します。

また、土地改良事業については、農業基盤総合整備構想に基づき、ほ場整備事業の採択に向けた取組に着手するとともに、土地改良区の合理化を引き続き推進します。

さらに畜産業については、良質な飛騨牛の確保をはじめ、生産基盤の強化に取り組んでいきます。

なお、食肉事業センターについては、食肉の供給を行うほか、新市場の建設促進に向けて協議を進めていきます。

◆商工業

町内における新規創業を後押しするため、創業支援補助金を創設し、起業しやすいまちづくりを進めていきます。

また、特産ブランド認証事業では、認証品と成りうる特産品の開発を資金面から引き続き

支援していくほか、現在、公開している認証品のPR動画を更新し、町の魅力を発信していきます。

◆観光

本年は養老公園が開園140周年を迎える記念の年となります。記念行事のスタートをより一層盛り上げ、年間通じての観光誘客への呼び水とするため、4月のオープニングセレモニーとまるごと肉まつり養老2020を同時開催することとしていますが、新型コロナウイルスの影響など社会情勢を注視しながら、開催について検討していきます。

◆雇用・就労

県との連携による企業誘致活動の推進に引き続き注力していくほか、地域未来投資促進法基本計画による地域経済牽引事業者や新規創業事業者の支援により、産業の活性化を図っていきます。

